

平成23年4月1日

報道関係各位

株式会社UMNファーマ

秋田工場が竣工し 生産技術開発の拠点として稼働しました

株式会社UMNファーマ(本社:秋田県秋田市、社長:金指秀一)が、秋田新都市産業区に建設をすすめていたインフルエンザワクチンの実験用生産施設が竣工し、当社の生産技術開発拠点として稼働いたしました。

当社は、平成20年4月に13,000m²の工場用地を確保し建設準備を進めておりましたが、平成22年7月、厚生労働省「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備事業」への採択を機に、インフルエンザワクチンの実験用生産施設として本工場の建設を進めてまいりました。

このたび完成した工場は、最大600Lスケールの培養タンク3基を備え、Baculovirus Expression Vector System を使用した細胞培養組換えタンパク質の製造施設としては、日本最大規模のものです。GMPに準拠した体制での運用が可能であり、カルタヘナ法にも準拠した環境に配慮した施設となっています。

本工場では、製造工程の改良、治験薬の製造、その他の組換えタンパク質の製造等、柔軟かつ機動的な運営を行っていく予定です。本工場は、当社グループの株式会社UNIGEN(<http://www.unigen-bio.com/>)が運営いたします。

— 本件に関するお問い合わせ先 —

株式会社 UMN ファーマ 取締役経営企画部長

手嶋 剛

電話:045-624-8341

E-mail: press@umnpharma.com